

■透 析 室

患者への情報提供を充実させ、技士部門との協力のもと、患者自身が透析療法について考えることができるよう援助する。

- 1) NS部門はCE部門と協力のもと、患者個々にあった情報提供の充実を目指し、患者自身が自ら目標を見出せるよう援助する。

評価

昨年から引き続き行っている患者への情報提供は、定着してきてはいるが、一方向の情報提供が主体となっている。透析室の目指す、生きた情報提供、双方の情報交換にはおよんではない。また、情報提供者のレベルが一定ではなく、患者の混乱を招く恐れはぬぐえない。根底には情報提供者側の勉強不足も一因と考える。このため、業務リーダー、チームリーダーの指導、確認が徹底されること念頭におき下半期を過ごしたが、透析室C室の本格的稼働の準備や、透析患者の質の変化などで思うように進めていないのが現実である。来年度は新採用者もほぼ1年を経過することもあり、業務に慣れるに従い、情報提供は少しスムーズなる可能性もないわけではない。患者への情報提供の充実は今後も継続目標とする。

- 2) 細かな情報提供ができるよう、患者受け持ち制を実現する。

評価

患者受け持ち制に関しては、スタッフ自らが必要と感じ始めていたが、前述の通り下半期では透析室環境の変化（人員配置を2チームから3チーム制に変更。要介護度の高い患者の増加）で思うような進展はない。今後に期待したい。

- 3) 全透析室コンピューターシステム導入により、患者基本情報はすべて電子化し、いつでも必要な情報を取り出せるよう準備し、補足部分（患者心理、背景）は情報シートとして記録で残す。

評価

基本情報の電子化においては全く進んでいない。これは上半期評価において延期を決定しているので、今後の課題とする。しかしながら、シートとして残すことは鈍進ではあるが実施はされてきた。情報の収集、整理は個別化、受け持ち制が進むにつれ各個人が必要と感ずることが大切である。昨年の入職者が慣れてくるにしたがいピッチは上がると思われる。継続課題とする。

円滑な業務の遂行

- 1) 業務委員が中心となり、業務用パスを完成させる。

評価

業務用パスは一部分ではあるが、完成しているので今後は活用を目指す。安全管理システムの充実

- 2) 透析チェックシートを活用しながら、新たなシステムの問題点を見つけ出す。

評価

透析用チェックシートは高水準で機能している。結果としてインシデントの発生が減少傾向にある。しかし確認不足などの原因によるインシデントの発生は少ないとはいえず、今後は指導の徹底をようする。シート自体は当初の目的を十分は果たしていると思われる。

- 3) CE部門においては、透析装置における安全運転チェックシートの構築を充実させる。また、中央管理システムを実現させ、常に安心、安全な医療機器の提供を心がける。

評価

CE部門においてもチェックシートは十分に機能しているが、不足部分も見受けられた。この部分については来年度の目標に盛り込んでいく。

自己研鑽の意識を育む

- 1) 透析室内での勉強会当番の定期化を行い、事業計画に盛り込み、課題提供の中から自己の課題を見つけ出す。

評価

自己研鑽については興味のある者とそうでないものがはっきりと区別できるくらい極端であった。特に、新人の自己啓発があまりにもないことに驚かされた。定例の勉強会においてはそれ自体を楽しむグループも見受けられたが、その後はマンネリ化傾向となり、充実した勉強会といかなかった。今後は運営、進行方法おも踏まえた新しい発想が必要と思われる。また研修会への参加の充実をはかるため、ポイント制の取り入れも考慮したい。

平成16年10月

- 10月8日 インシデント検討会（詰所内）
- 10月15日 看護カンファレンス
- 10月16日 腎臓病教室（栄養について）
- 10月21日 詰所内勉強会（老人看護）
- 10月22日 看護カンファレンス
- 10月24日 北海道透析療法学会（ペインレスニードルの使用経験）
- 10月28日 詰所内勉強会（血圧について）
- 10月30日 実践報告会（院内）看護過程報告会（院内）

平成16年11月

- 11月5日 インシデント検討会（詰所内）
- 11月7日 透析談話会
- 11月8日 看護カンファレンス
- 11月15日 ケースカンファレンス
- 11月17日 看護カンファレンス
- 11月22日 ケースカンファレンス
- 11月23日 詰所内勉強会（心電図について－不整脈－）
- 11月25日 詰所内勉強会（三大エネルギーについて）
- 11月29日 ケースカンファレンス

平成16年12月

- 12月3日 インシデント検討会（詰所内）看護カンファレンス
- 12月8日 看護カンファレンス
- 12月13日 ケースカンファレンス
- 12月15日 看護カンファレンス
- 12月20日 ケースカンファレンス
- 12月24日 看護カンファレンス

平成17年1月

- 1月5日 インシデント検討会（詰所内）
- 1月14日 看護カンファレンス
- 1月17日 ケースカンファレンス
- 1月21日 看護カンファレンス
- 1月24日 ケースカンファレンス
- 1月28日 詰所内勉強会（カテーテル管理）

平成17年2月

- 2月2日 インシデント検討会（詰所内）
- 2月3日 札幌CAPD臨床研究会
- 2月5日 札幌市病院学会（ペインレスニードルの有用性）
- 2月9日 看護カンファレンス
- 2月14日 ケースカンファレンス
- 2月16日 看護カンファレンス
- 2月21日 ケースカンファレンス
- 2月23日 看護カンファレンス

2月25日 看護カンファレンス

2月28日 ケースカンファレンス

平成17年3月

3月2日 インシデント検討会（詰所内）

3月3日 チームリーダー研修

3月5日 研究指導者の役割理解とマネジメント

3月9日 看護カンファレンス

3月14日 ケースカンファレンス

3月16日 看護カンファレンス

3月19日 研修会（個人情報保護法）

3月28日 ケースカンファレンス

3月31日 詰所内勉強会（ローモリン）